

平成29年度 第4回伊東市政モニター会議録（要旨）

日 時 平成30年2月23日（金）午前10時30分～正午

場 所 市役所7階 特別会議室

出席者 市政モニター7人（欠席1人）

市長、若山副市長、佐野副市長、杉本市長戦略監、中村企画部長、
事務局（市政戦略課長、市政戦略課主査）

1 開会

2 市長あいさつ

- ・ 前回のモニター会議で見学していただいた学校給食センター及び環境美化センターのご意見や感想を伺いたい。
- ・ 市長に就任し、初めての予算編成を行った。公約に掲げた様々なことを着実に予算に反映させていただいた。また、今後長期的に考えなければならないことも盛り込み、モニターの皆様からご指摘いただいたことも反映している。予算については後ほど説明させていただき、それに対しご意見等を伺いたい。
- ・ 八幡野の大規模太陽光発電所については、法的に私たちが持てる力をこれ以上発揮できない段階となり、自由主義経済の下、法律に則った事業に対して許可権限を持つ行政が許可をしないということで損害賠償の裁判になった場合は、本市が敗訴することが明白である。そのため、苦渋の決断で許可したが、通常の許可条件に加えできる限りの条件を付けた。
- ・ モニター期間中にはモニター通信でもご意見をいただきありがたく思っている。任期後も変わらずご指導ご意見等を寄せていただきたい。

3 活動報告

今年度の市政モニター活動報告（担当）

4 懇談

平成30年度伊東市各会計予算案公表資料を用い、新規事業を中心に概要を説明（若山副市長）

【モニターA氏】

伊豆高原駅が非常に衰退しています。今年になり2か月経たないうちにもう3店舗閉店しました。10数年前と比較すると1/3か1/4ほどの店舗数になっています。周辺の駅前通りの飲食店も閉店が相次ぎ、魅力が失われてしまっています。国道沿いのスーパーが新しくなったことで一見すると賑わっている

ようですが、駅の中やその周辺は大変な状況です。もちろん民間事業者の役割ですが、行政が指導力を発揮しないと更に衰退する恐れがあります。構想力だけでも発揮していただきたいと思います。

定年後に都会から分譲地へ移住してきた人も、伊豆高原の魅力が失われていることで都会へ戻ってしまっています。

新規事業「空き家等対策推進事業」について、これは今後調査するのでしょうか。

【若山副市長】

統計調査で空家の推計は取れていますが、この調査では、市内全域の空家の実態をより詳しく把握し、具体的対策を定めてまいります。

【モニターA氏】

調査対象には分譲地も含まれますか。

【市長】

含まれます。

【モニターA氏】

分譲地も大変な状況であり、不動産業者の話では、無料でもいいので不動産を譲りたいという人もいます。開発当時に土地を買ったものの、40年以上空地のままにしている人もいて、隣人に無料で引き取ってもらう人もいます。しかしながら高齢化も進む中で隣の土地であってもいない人も多いです。

土地や物件の値段が下がっている中で、もっと都会からの移住が見込めそうですが、先ほど申し上げた通り、地域の魅力が無いことからますます人が流出してしまうという悪循環に陥っています。こうなると、個々の民間事業者の力では対応できませんので、行政としてぜひとも指導力を発揮していただきたいと思います。

【市長】

伊豆高原駅のやまもプラザ内のお話でよろしいですね。

市では、商店街の空き店舗を新たに借りてお店をオープンする時に利用できる補助制度があり、やまもプラザ会も対象となっています。もし店を始めたいと考えている方がいらっしゃれば制度をご説明しますので、補助金を活用しながら開店していただきたいと思います。

【モニターA氏】

そもそもお客さんがいないという問題と、特に土産物店が苦戦しているようです。伊東ならではの特産物、土産物の開発が足りないと感じます。「お菓子共和国」とうたっているわりには伊東ならではのお菓子の品揃えが少なく、開発が足りないと感じています。

【市長】

開発、研究を頑張ってくださいよう市からも依頼します。

【モニターB氏】

予算についての質問です。新規事業について実施1年後、2年後の評価指標のようなものはあるのでしょうか。

【市長】

P D C Aマネジメントサイクルにより進捗状況を管理し、サマーレビューで事業の評価や見直しを行っています。

【モニターB氏】

年度当初にいただいた資料「伊東市の財政」の財政指標ランキングによると、平成27年度の伊東市の財政力指数の順位が県内で20位と低くなっていました。何かの取組が次年度の指標値にどう反映されるというのは、どのように捉えていますか。

【若山副市長】

様々な財政指標がある中で、個々の事業がすぐその財政指標に結びつくというのはありませんが、例えば人件費比率や投資的経費比率などは、サマーレビューなどで検証し改善することで数値が変わってくることはあります。

投資的経費率については、予算規模全体の中でどれだけ建設事業に予算を向けられるかということになります。市長の公約である子育て支援や街のにぎわい創出などソフト部分に予算をかけると、投資的経費比率は落ちます。しかし長期的に見て市長の公約である図書館や文化ホールが具体的に進んでいく中では投資的経費率は上がっていくものと考えています。

単純に結びつくものではありませんが、常に財政指標は認識しながら進めております。

【モニターB氏】

教育費のところで、「特別支援教育アドバイザー配置事業」がありましたが、これはどのような内容でしょうか。

【若山副市長】

特に小学校において、特別な支援を必要とする児童が増えており、児童を補助する支援員を市の予算により配置しています。この事業は特別な支援を必要とする児童等についての専門的知識を持つアドバイザーを配置し、教諭や支援員に対し個々の学校の実情に沿ったアドバイスをしていただくものです。

【モニターB氏】

先生の経験者ということでしょうか。

【若山副市長】

どなたかは分かりませんが、専門家に来ていただくこととなっています。

【モニターC氏】

学校給食センターの施設見学について、子どもが通う小学校でもアレルギー対策をしていただいております、ありがたいと思います。

【モニターD氏】

給食センターはシステム化されていて素晴らしいと思いました。手作り調理を重視するなどこだわりに感銘を受け、食育の観点からも誇れる施設であると思いました。見学させていただいたおかげで、毎月の広報いとうに掲載されている健康レシピを見るのが楽しみになりました。

環境美化センターでは見学したことにより3R、リユース、リデュース、リサイクルを意識し、分別等をしっかりやっという意識が芽生えました。

また、いただいた資料を知り合いや家族に見せたところ、ぜひ見学したいという意見が多く聞かれました。そのため、美化センター教室など企画して公募したらどうでしょうか。実際に見学することで身近な問題として意識され、ごみ問題などに真剣に取り組むようになるのではないのでしょうか。

【課長】

施設見学ツアーは良いアイデアだと思います。環境美化センターや上下水道の施設など市民生活に身近な施設を実際に見学していただくことで、市民の皆様からのより一層のご理解ご協力を得られるものと思いますので、実施につい

て検討させていただきます。

【モニターE氏】

給食センターを見学して、栄養士さんたちが工夫して献立を作っていることを知り、食器にも伊東らしいイラストが描かれており温かみを感じました。また、アレルギーのある子どもの保護者に早めに献立を渡すことで、保護者も早めの対応ができているようです。

献立もかわいらしい名前や「みかんのはなさくゼリー」や「すけちかじる」など伊東にちなんだ名前がついていて、どんな料理だろうと楽しみにさせる工夫がされているのも魅力的だと思います。

野菜料理レシピコンテストも子どもの食育に繋がるので、今後も実施の継続をお願いします。

環境美化センターでは、普段何気なく捨てているごみの最後の処分の様子を見ることができ、搬入されているごみの量の多さに驚きました。施設内は臭いが感じられなかったことにも驚きました。せっくなのでもう少し時間をかけて、色々と学びながら見学したかったです。

見学中に撮った写真を周囲の人に見せたところ、見学したいという意見が多く聞かれたので、先ほど出た意見と同様に、大人の社会見学として施設見学を企画したらどうでしょうか。また、今の時期は雛飾りやロウバイなどの見どころスポットもあるので、季節ごとにワンコインで行けるような見学ツアーがあると良いと思います。

医療について、もう少し充実すると良いと思います。例えば、伊東市民病院に周産期母子医療センターがあると、リスクの高い妊婦も安心してお産に望めるのではないのでしょうか。

また、夜間救急医療センターの拡充や訪問診療をしてくださる先生が増えると思います。

福祉や介護を充実させていただくと、皆さんが安心して暮らせる街にできると思います。

市のインスタグラムには良い写真がたくさん掲載されているので、その写真の効果的な活用方法を検討できないでしょうか。

【課長】

たくさんのご意見、ご提言ありがとうございます。参考にさせていただきます。

【モニターF氏】

歳出予算では民生費が多く、どこか引き締められる部分はないのでしょうか。例えば生活保護の審査は適正にされているのでしょうか。高齢化が進み、医療費も増え続けています。増収が見込めない中、歳出を抑えることは当然考えていると思いますが、引き締められるところを考えていただきたいと思います。

普段、市の予算について考えることはありませんでしたが、今回のテーマで予算に関する資料を見て、予算を適正に使い、結果を検証し、次年度へ繋げるというのは大事なことだと思いました。

高校までの医療費無償化など、若い人を増やすための施策の推進をお願いします。

【市長】

生活保護申請については適正に審査しています。ご意見が寄せられることもあります。保護の必要性については継続的かつ適切に調査・確認を行っております。

子ども医療費について、伊東市では30年4月から、助成対象年齢を従来の15歳から18歳までに拡充します。県でも10月からは高校生への医療費助成を実施する方針を固めています。

また、同じく30年4月から小学校就学前の1年間、幼稚園・保育園の保育料を無償とします。その分を蓄えたり入学準備に充てていただきたいと思います。できればもう一人お子さんを産むことを考えていただけるよう、更なる子育て支援策を検討します。

【モニターG氏】

施設見学については普段見学できない施設を見学させていただき、大変貴重な機会でした。市政に対する関心も深まり、伊東市民であるという当事者意識を一層強く持つことができました。

モニターに参加する中で、伊東市の環境の厳しさ、観光地としての在り方に触れるものが多く、そのような部分をフォローしていただけると市民としてはありがたいと思います。

【市長】

新年度予算では、観光に対する新規政策の予算を15%増やしました。例えば新規の「HIKARI to YUKATAにぎわい演出事業」では、松川遊歩道などを照明で彩り、商店街、飲食店などとも連携し特典を付けることで浴衣で

の街歩きを促し、にぎわいを創出することを考えています。

【モニターF氏】

防災に関して、伊東港に配備された津波避難救命艇の役割を教えてください。

【企画部長】

津波で高台などへの避難が間に合わない場合、救命艇の中に入っただけ
れば命を守ることができます。配備は1台で着座シートは25人分です。

【モニターA氏】

新聞の折込広告で、太陽光発電施設の土地を探しているという内容のものを
見かけます。小規模な施設であれば構わないと思いますが、大規模な施設の場合
は、市で早めに情報をキャッチして対応していただきたいと思います。

【市長】

3月市議会に提出した条例案が成立した場合、基本的には大規模な太陽光発
電施設はできないことになります。

遊休土地や屋根などを利用した適正箇所、適正規模の施設を活用することは
良いと考えています。

【モニターC氏】

フラダンス教室でコミュニティーセンターを利用しますが、鏡張りの部屋が
少ないので増やして欲しいです。冷暖房使用料もコミュニティーセンターの部屋
によりに差があり、利用しやすい料金にしていただけると助かります。

また、観光会館の施設及び付属設備の使用料が高いので、新しい文化ホールが
できた時には、利用しやすい使用料金にしていただけると助かります。

【市長】

鏡張りの部屋については承知しました。観光会館の施設等使用料が高いとい
うご意見は、他でもいただいていますので、文化活動振興という観点から何か支
援ができるかどうか頭に入れておきます。

【モニターD氏】

伊東駅のトイレはいつ頃完成するのでしょうか。

【市長】

所有者であるＪＲ東日本の承諾は得ており、市の費用負担で作り変えることとなっています。できるだけ早急に進めたいと考えており、新年度予算に設計業務委託料を計上しています。

【市長戦略監】

工事にあたり人通りが多くなる観光シーズンを避けたいことと、仮設トイレの設置も必要になりますが、遅くとも３１年度中には完成させたいと考えております。

【モニターＢ氏】

八幡野メガソーラーはどうなるのでしょうか。

【市長】

現時点では、市では宅地造成等規制法の許可申請について審査が終わり、次は県が森林法に基づく許可の審査をします。

【モニターＢ氏】

新年度はにぎわい演出事業に予算を多く計上していただいております、市街地の賑わいが創出されることを期待してよろしいでしょうか。

【市長】

さっそく３月には藤の広場でイベントを予定しています。今後、藤の広場にコンテナショップのようなものを設置するなど、いつでもお店がある状態を目指したいと考えています。

また、夏の観光シーズンには宿泊施設にも協力いただき、浴衣で街歩きを楽しんでいただくことを考えています。年間を通して様々な仕掛けにより、にぎわいの創出を進めていきたいと考えています。

【モニターＢ氏】

これまでの会議でも述べましたが、若い人が市内で就職し、働き続けられる環境を作っていただくことを特にお願いいたします。

施設見学について個人的には大変参考になりました。ただし、市政モニターとしての視点、見るべきポイントがあれば事前に調整の上、実施したら良いと思います。例えば、伊東市で今課題となっている施設があれば、それらを見て意見提案をしていくような場となればと思います。

市政モニター会議はもう少し時間を取り、様々なことをディスカッションで
きる場となればと思います。

【市長】

若者の雇用については、先日、市内約30事業所及び観光・商工関係団体代表
と雇用環境改善会議を行い、官民一体となって人手不足解消や人材育成に取り
組み、市内の雇用環境を改善していくことを申し合わせました。この会議を年に
4回程度開催し、雇用に関する情報共有と、共通する課題解決に向けた取組を進
め、求人情報発信や会社説明会開催などを協力して進めていく予定です。

課題のある施設を見学するというご提案については、例えば下水道の接続率
向上のため下水道処理施設を見学していただくなどの方法が考えられると思い
ますので、実施について検討します。

市政モニターについては、会議は年4回の実施ですが、モニター通信など他の
手段でご指導いただければと思います。

【モニターB氏】

この2年間地元の活動に取り組む中で、市として様々なことを実施している
ことがわかりました。しかし、情報が地域に限定されてしまっているようで、外
部へのPR強化をぜひお願いします。

【市長】

現在、伊東市のプロモーションビデオを制作しており、それを首都圏の家電量
販店のテレビ売り場で流していただくことを進めています。様々な取組により
伊東市のPRを進めていきたいと考えています。

【課長】

時間になりましたので、平成29年度最後の市政モニター会議を終了します。
3月末までの任期となりますが、任期終了後もお気づきの点がありましたら、ぜ
ひ積極的にご意見等お寄せくださいますようお願い申し上げます。

1年間ご協力いただきましてありがとうございました。